

## 地域活動団体紹介コーナー

### 清流猪名川を取り戻そう町民運動



#### ●町民運動とは

「川は汚く危険なところ」、「草で川が見えない」など猪名川の悪いイメージを耳にすることが多くなってきたと感じます。かつて猪名川は生活や農業に欠かせないものであり、私たちの生活の身近にありました。また、夏には泳いだり、魚をとるなど子どもの遊び場にもなっていました。

『清流猪名川を取り戻そう町民運動』とは、猪名川町の町名にもなっている猪名川を清流として、子ども達に残していこうという町をあげての運動です。

#### ●これまでの主な活動

##### マスコットキャラクター「いなぼう」誕生

町民運動をもっと多くの人に知ってもらい、参加して欲しいという思いでマスコットキャラクター「いなぼう」が誕生しました。

##### ホタルの生息調査

水辺に近づいた時に川の状態を知ってもらい、今後どのようなことをしていく必要があるのかといったことを考えてもらうことを目的に住民ボランティアを中心にホタル生息調査を実施しました。調査の結果、猪名川町全域でホタル(ゲンジボタル)を観賞できることがわかりました。

##### 清流猪名川絵画展

子ども達に猪名川に触れ合ってもらいたいという思いで毎年、保育園児、幼稚園児、小学生を対象にして絵画を募集しています。

##### 河川清掃

町民運動では、猪名川町職員ボランティアグループを中心に年2回を目標に町内の清掃活動に取り組んでいます。

これらの活動のほかにも、雨水貯留槽の設置助成や、清掃機材の貸出し、水質調査、オオサンショウウオの観察会、清流猪名川講演会など、住民と行政が連携し、多くの活動を進めています。

### クイズ

猪名川町で一番多く、ゲンジボタルが確認された地点はどこなところだったのでしょうか。

- ①両岸がコンクリート護岸で、河床が凸凹していて植生があるところ。
- ②護岸がなく、河川上空が植生で覆われているところ。
- ③3面張りの護岸のところ。

※答えは内面にあります。

### あなたの活動を紹介してみませんか？



猪名川河川レンジャーNewsLetterでは、地域で頑張る住民の方々の活動を『広くPRする場』・『イベント情報の交換の場』として活用して頂き、『流域全体でのネットワークを構築する一助となる』ことを目的として、『猪名川流域(猪名川・源川およびそれぞれの支川)で活躍されている皆様の水辺に関わる活動を紹介していきたいと思っています。『自分たちが行っている活動を流域の人々に紹介したい方』、『流域全体でのネットワークを構築することなどに興味がある方』は下記メールアドレスまで、お気軽にご連絡下さい。

inagawa\_ranger@ss.pacific.co.jp

### 河川レンジャーって何？

『河川レンジャー』は、地域と連携した河川整備を進めるうえで、住民に川に関心を持ってもらい、住民参加型の河川整備の推進を支援する立場で、住民と行政との関係をコーディネートし、人と川をつなぐ役割を担っています。猪名川流域の水辺での活動などを通じて、『防災』『維持管理』『河川利用』『環境保全』『水辺文化』の5つの分野に貢献しています。

猪名川河川レンジャーに関するお問い合わせは、下記HP・メールアドレスをご利用頂くか、猪名川河川事務所 管理課までご連絡下さい。

猪名川河川レンジャーのホームページ：<http://lranger.web.fc2.com/>  
メールアドレス：[inagawa\\_ranger@ss.pacific.co.jp](mailto:inagawa_ranger@ss.pacific.co.jp)

猪名川河川レンジャー 検索

猪名川河川事務所 管理課 電話番号：072-751-1111(代表) 住所：池田市上池田2丁目2番39号  
(発行日：平成21年3月2日)

人と川をつなぐ

# 猪名川河川レンジャー

## NewsLetter vol.3

# みんなの手で 猪名川に清流をとり戻そう！

～猪名川クリーン作戦を開催～





# 猪名川を知らうNO.2

## 猪名川流域の水害の歴史

昭和に入ってから現在までの間に、猪名川流域を襲った大規模な水害や台風がたびたび発生しています。

なお、猪名川河川事務所では、より安全・安心な暮らしのために改修計画を立てて順次工事を進め、被害を防ぐ努力がなされています。

発生年月日	原因	被害等
昭和13年 7月3日～5日	梅雨前線	死者8人、負傷者1人、 全壊流失162戸、半壊94戸、 床上・床下浸水8,408戸、田畑冠水1,678ha
昭和28年 9月22日～25日	台風13号	負傷者12人、全壊流失41戸、 半壊30戸、床上浸水1,080戸、 床下浸水3,910戸、田畑冠水1,220ha
昭和35年 8月29日～30日	台風16号	負傷者11人、全壊流失25戸、 半壊49戸、床上浸水1,807戸、 床下浸水2,541戸、田畑冠水454ha
昭和42年 7月7日～9日	台風7号 くずれ 梅雨前線	死者2人、負傷者100人、 全壊流失41戸、半壊57戸、 床上浸水17,653戸、床下浸水76,779戸、 田畑冠水2,120ha
昭和43年 8月27日～29日	台風10号	床上浸水51戸
昭和47年 7月9日～12日	前線	半壊2戸、床上浸水65戸、 床下浸水2,262戸
昭和47年 9月14日～16日	台風20号	全壊流失3戸、半壊6戸、 床上浸水95戸、床下浸水398戸、 田畑冠水47ha
昭和58年 9月24日～28日	台風10号	半壊8戸、床上浸水353戸、 床下浸水2,854戸、田畑冠水39ha

出典：猪名川河川事務所資料

※平成12年東海豪雨の愛知県内被害戸数65,689戸を上回ります。



昭和28年9月災害（桑津橋）



昭和42年7月災害（尼崎市内）



昭和43年8月災害  
（多田神社付近）



昭和58年9月災害  
（鍋延橋を左岸より望む）



平成16年10月災害  
（多田大橋より下流を望む）

出典：猪名川河川事務所HP

# 河川レンジャー 活動レポート

## 第6回 猪名川クリーン作戦



植原R

猪名川の清掃活動を通じて川に関心を持ってもらい、流域の住民・企業・行政のネットワークづくりを目指すものとして、『猪名川クリーン作戦』が年に一回開催されています。6回目となる今年は昨年より参加協力団体が42団体と増え、猪名川流域の19箇所で開催されました。

集合場所	参加人数 (人)	ゴミ収集量					
		燃やす ゴミ(袋)	燃やさない ゴミ(袋)	缶(個)	ビン(個)	ペットボトル・ プラスチック (個)	雑大ゴミ
①猪名川産地「川の案内所」(猪名川町)	12	26	4	3	1	5	タイヤ等6袋 草等10袋
②猪名川町菅野プール駐車場(猪名川町)	47	29	2	1		2	9(17)本 3(4)台 自転車1 台 鉄部工作機械2台 波板 1枚 鉄線・ブツ類
③ゴルフ橋下流右岸(川西市)	28	34	7	4	2		9(17)本 蛍光灯50本 ル ド12台 ハン2台 レンジ 各 バイク1台 ハンカチ3個 5(4)本 5(4) 金庫 5 鉄管 ハット等 鉄管 他大 量
④清和企業 清和路下(川西市)	95	355	10	15	3		9(17)本 蛍光灯 プラス チックケース他多数 草 自転車2台 テレビ1台 タイ ヤ2本 草
⑤多田神社御社下流右岸(川西市)	190	60		5	1		9(17)本 蛍光灯 プラス チックケース他多数 草 自転車2台 テレビ1台 タイ ヤ2本 草
⑥コンニャク橋右岸(川西市)	26	26	36	10	2		自転車2台 テレビ1台 タイ ヤ2本 草
⑦イリスRで築堤多田左岸河川敷(川西市)	34	19	3	3	1		タイヤ、鉄製品、プラスチック 自転車 9(17)本 家具等 他電器製品 バイク 雑物 ゴミ
⑧ドラゴンランド遊園地高草下(川西市)	101	180					タイヤ、鉄製品、プラスチック 自転車 9(17)本 家具等 他電器製品 バイク 雑物 ゴミ
⑨産婆寺川合流地点(川西市)	21	127	4山色	12	2		タイヤ、鉄製品、プラスチック 自転車 9(17)本 家具等 他電器製品 バイク 雑物 ゴミ
⑩猪名川東久保遊園公園事務所前(川西市)	71	80	4				3袋
⑪猪名川運動公園事務所前(美田市)	68	57	5				13袋
⑫JR北伊丹駅前(伊丹市)	34	89					11山
⑬農業公園東河川敷(尼崎市)	33	41	8				5袋
⑭猪名川公園北側河川敷(尼崎市)	31						5袋
⑮猪名川公園橋左岸(尼崎市)	45	23	5				3袋
⑯猪名川東田下流右岸(尼崎市)	23	22	7				1袋
⑰猪名川西側河川敷(尼崎市)	33	50	23				29袋
⑱産婆寺川合流地点(尼崎市)	35	39					
猪名川利倉橋左岸(豊中市)	29	1	36				空 スポンジ バッテリー 野菜 等
合計	998	1928	236	59	12	16	



## 来年度の活動予定



- 来年は以下のような、活動が予定されています。
- 第6回水辺まつり【主催：水辺まつり実行委員会】
- 第6回水辺フォーラム【主催：水辺まつり実行委員会】
- 出前講座(水防災)【主催：猪名川河川レンジャー】
- 第4回流域連携意見交換会【主催：猪名川河川レンジャー】
- 第7回猪名川クリーン作戦【主催：猪名川クリーン作戦実行委員会】
- いながわの野草教室【主催：猪名川河川事務所】



## 水害に関する防災ワークショップ



栗木R

猪名川流域で防災活動に取り組まれている方々や、河川管理者の防災担当者が、猪名川の特長や水害時の避難の方法について学び、方々の水害を意識した防災意識向上のきっかけとなる防災訓練の実施を目的として『水害に関する防災ワークショップ』が開催されました。

会場には、約30人の尼崎市内の自主防災組織の関係者やボランティア、河川管理者の防災担当が集まり、京都大学防災研究所の総智晴教授より「水害対応行動のシミュレーション技術とその応用」をテーマとした基調講演がありました。

その後、参加者を3つのグループに分けて、DIG(図上訓練)が行われ、予め想定された災害や状況において、各自でどのような行動をするかといったことをグループ内で話し合いました。

【河川レンジャーの取り組み】

図上待避行動判断の訓練において、状況分析へのアドバイスをを行いました。

